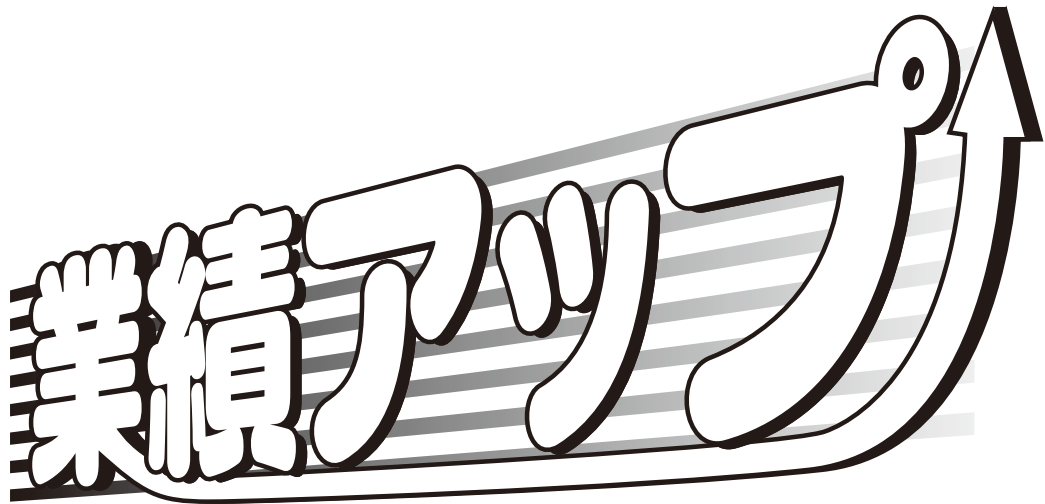


第180回

網走信用金庫 管内企業業況調査

(2022年9月期調査)



いつも身近なおつきあい

あばしんきん

<ホームページ> <http://www.abashin.co.jp>

第180回 管内企業業況調査

2022年10月
網走信用金庫
地域振興支援部

□ 調 査 要 領

- 調査項目 「業況判断」など9項目
- 調査時期 2022年9月1日～9月7日
- 対象期間 2022年7月～9月期の実績、前年同月対比の実績、2022年10月～12月期の見通し
- 対象企業 オホーツク総合振興局管内で当金庫営業区域内の企業191社
- 調査方法 信金職員による直接聴き取り調査
- 分析方法 地区別及び業種別の景気動向指数の判断DI(ディフュージョン・インデックス)分析
※DI数値は、各質問項目別に「良い(増加・上昇)と回答した企業の全体に占める割合(%)」－「悪い(減少・下降)と回答した企業の全体に占める割合(%)」を計算したものです。
なお、調査時期による一定の時系列波を補正する「季節調整」は実施していません。
- 回答企業数 191社 (回答率100.0%)

■回答企業内訳

地区別区分	網走地区	斜里地区	美幌地区	北見地区	合 計
	55社	39社	54社	43社	191社
業種別区分	製造業	建設業	卸売・小売業	サービス業	合 計
	38社	44社	73社	36社	191社

■企業規模別内訳 (従業員数)

10人未満	30人未満	50人未満	100人未満	150人未満	200人未満	200人以上	合 計
94社	72社	8社	15社	1社	0社	1社	191社

◇ 目 次 ◇

- 第180回 管内企業業況調査 調査要領 1P
- 景気概況トピックス 国内景況・道内景況 2P
- 地区別の業況判断のDI推移 3P
- 業種別の業況判断のDI推移、項目別調査結果 4P～5P
 - 1. 在庫状況 2. 販売価格 3. 仕入価格 4. 経営上の問題点
- 特別調査「中小企業におけるSDGs(持続可能な開発目標)の取組状況について」アンケート結果 … 6P～7P
信金中央金庫全国一斉アンケート
- 網走信金の《のうだいレポート》 7P
- あばしりしんきん掲示板～地域情報とお知らせコーナー～ 8P
 - 観光・漁業情報
 - 網走信金からのお知らせ

景気概況トピックス

国内景況 D I 値が横ばいで推移

日銀短観 業況判断DI (全国)		2020年		2021年				2022年			
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月予想
大企業	製造業	△27	△10	5	14	18	17	14	9	8	9
	非製造業	△12	△5	△1	1	2	10	9	13	14	11
中堅企業	製造業	—	—	—	—	—	6	3	0	0	△4
	非製造業	—	—	—	—	—	2	0	6	7	2
中小企業	製造業	△44	△27	△13	△7	△3	△1	△4	△4	△4	△5
	非製造業	△22	△12	△11	△9	△10	△3	△6	△1	2	△3
全規模計		△28	△15	△8	△3	△2	2	0	2	3	1

■ 日本銀行が2022年10月3日に発表した2022年9月の全国企業短期経済観測調査（以下日銀短観、対象9,268社、回答率99.5%）によりますと、企業の景況感を示す業況判断指数（D I）は、全規模計で2022年6月の前回調査結果(プラス2)より1ポイント増加のプラス3となりました。

■ 日本銀行による2022年7月21日公表の「経済・物価情勢の展望」より

基本的見解：「わが国の景気は、資源価格上昇の影響などを受けつつも、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとの、持ち直している。」

見通し：「わが国経済の先行きを展望すると、見通し期間の中盤にかけては、資源価格上昇による下押し圧力を受けるものの、感染症や供給制約の影響が和らぐもとの、外需の増加や緩和的な金融環境、政府の経済対策の効果にも支えられて、回復していくとみられる。」

■ 内閣府発表の2022年9月30日公表の月例経済報告での判断

国内基調判断：「景気は、緩やかに持ち直している。」

先行き：「先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。」

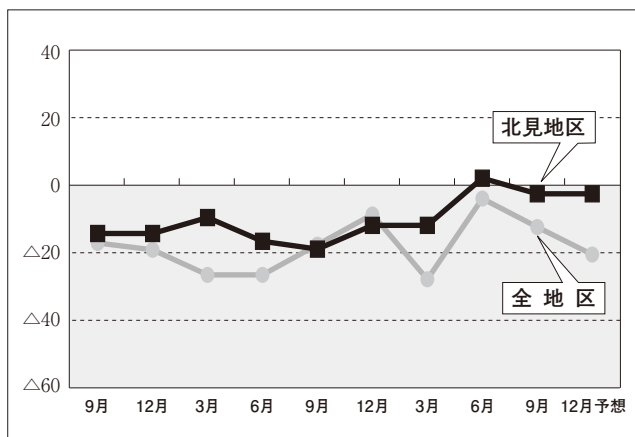
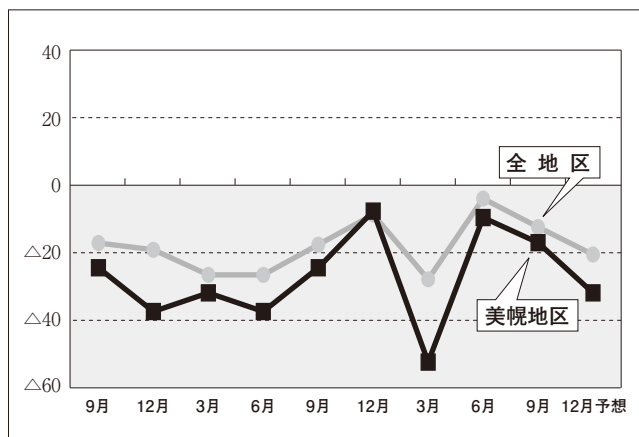
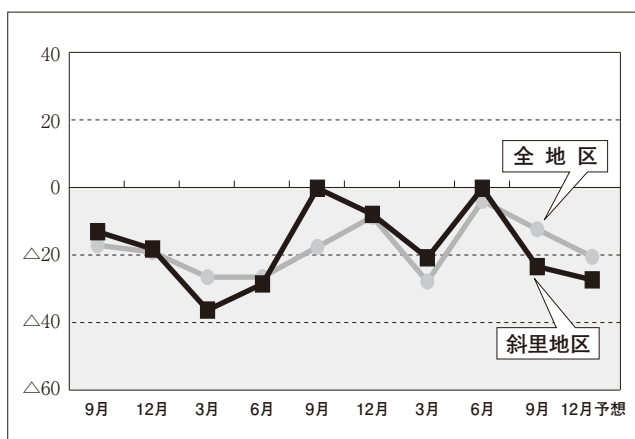
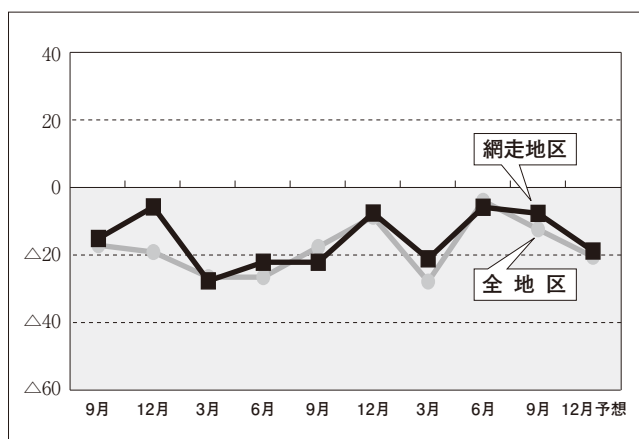
道内景況 非製造業のD I 値が改善

日銀短観 業況判断DI (道内)		2020年		2021年				2022年			
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月予想
製造業		△25	△13	△9	3	9	12	△11	△4	△6	△8
非製造業		△17	△9	△11	△10	△11	△5	△10	△1	5	△5
全産業		△19	△10	△11	△6	△6	△2	△10	△1	3	△6

■ 日本銀行札幌支店が発表した2022年9月期の日銀短観道内集計（対象446社、回答率99.8%）によりますと、道内の業況判断指数（D I）は、2022年6月の前回調査結果（マイナス1）より4ポイント増加のプラス3となりました。

業況判断D I の推移 (地区別)

地区区分	2020年		2021年				2022年			
	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月予想
網走地区	△14.8	△5.5	△27.3	△21.8	△21.8	△7.3	△20.8	△5.6	△7.4	△18.5
斜里地区	△12.8	△17.9	△35.9	△28.2	0.0	△7.7	△20.5	0.0	△23.1	△27.0
美幌地区	△24.1	△37.0	△31.5	△37.0	△24.1	△7.4	△51.9	△9.3	△16.7	△31.5
北見地区	△14.0	△14.0	△9.3	△16.3	△18.6	△11.6	△11.6	2.3	△2.3	△2.3
全地区集計	△16.8	△18.8	△26.2	△26.2	△17.3	△8.4	△27.5	△3.7	△12.1	△20.2



☆オホーツク総合振興局管内企業を「網走地区」(網走市内)、「斜里地区」(斜里町・小清水町・清里町内)、「美幌地区」(美幌町・大空町・津別町内)、「北見地区」(常呂を含む北見市内)に区分して業況判断結果を分析しております。

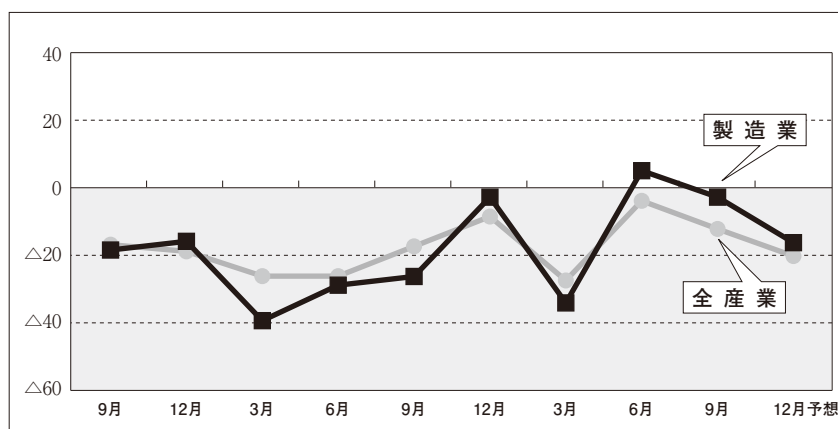
業況判断D I の推移 (業種別)

業種区分	2020年		2021年				2022年			
	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月予想
製造業	△18.4	△15.8	△39.5	△28.9	△26.3	△2.6	△34.2	5.3	△2.6	△16.2
建設業	△7.0	△2.3	△2.3	△13.6	△4.5	4.5	△9.3	△7.0	△16.3	△23.3
卸売・小売業	△31.5	△31.5	△32.9	△31.5	△23.3	△23.3	△34.7	△9.6	△20.5	△27.8
サービス業	2.8	△16.7	△27.8	△27.8	△11.1	0.0	△27.8	2.8	0.0	△5.6
全業種集計	△16.8	△18.8	△26.2	△26.2	△17.3	△8.4	△27.5	△3.7	△12.1	△20.2

製造業 (対象38先)

業況判断

	良い	横ばい	悪い	DI値
今期	21.1	55.3	23.7	△2.6
次期予測	10.8	62.2	27.0	△16.2



在庫状況

	過剰	適正	不足	DI値
今期	10.8	83.8	5.4	5.4
次期予測	8.1	81.1	10.8	△2.7

販売価格

	上昇	横ばい	下降	DI値
今期	36.8	60.5	2.6	34.2
次期予測	36.8	63.2	0.0	36.8

仕入価格

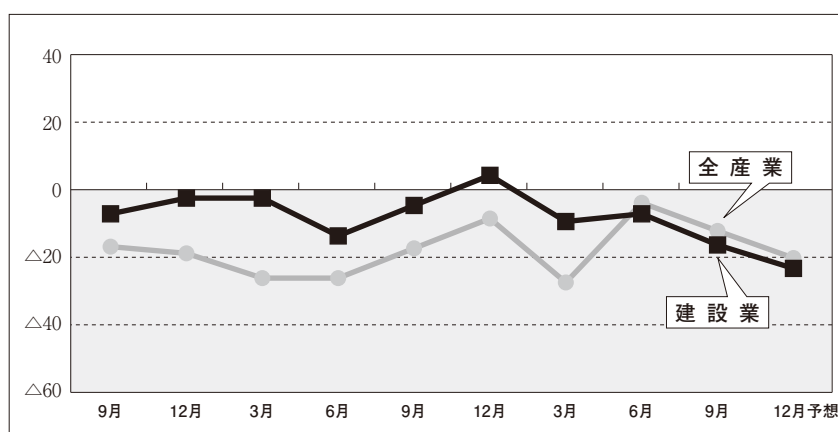
	上昇	横ばい	下降	DI値
今期	68.4	31.6	0.0	68.4
次期予測	65.8	31.6	2.6	63.2

※DI値を除く各項目の数値は各回答の構成値です。

建設業 (対象44先)

業況判断

	良い	横ばい	悪い	DI値
今期	4.7	74.4	20.9	△16.3
次期予測	2.3	72.1	25.6	△23.3



在庫状況

	過剰	適正	不足	DI値
今期	4.7	93.0	2.3	2.3
次期予測	2.3	95.3	2.3	0.0

販売価格

	上昇	横ばい	下降	DI値
今期	34.9	65.1	0.0	34.9
次期予測	30.2	69.8	0.0	30.2

仕入価格

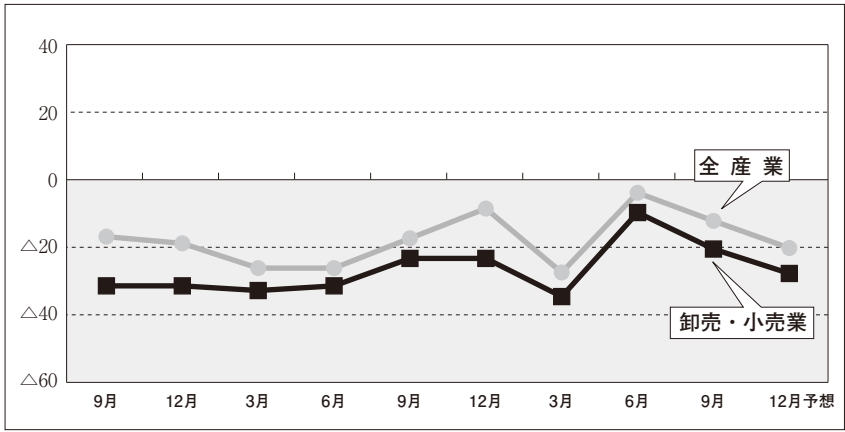
	上昇	横ばい	下降	DI値
今期	58.1	41.9	0.0	58.1
次期予測	55.8	44.2	0.0	55.8

※DI値を除く各項目の数値は各回答の構成値です。

卸売・小売業 (対象73先)

業況判断

	良い	横ばい	悪い	DI値
今期	9.6	60.3	30.1	△20.5
次期予測	4.2	63.9	31.9	△27.8



在庫状況

	過剰	適正	不足	DI値
今期	5.5	87.7	6.8	△1.4
次期予測	6.9	86.1	6.9	0.0

販売価格

	上昇	横ばい	下降	DI値
今期	45.2	50.7	4.1	41.1
次期予測	40.3	58.3	1.4	38.9

仕入価格

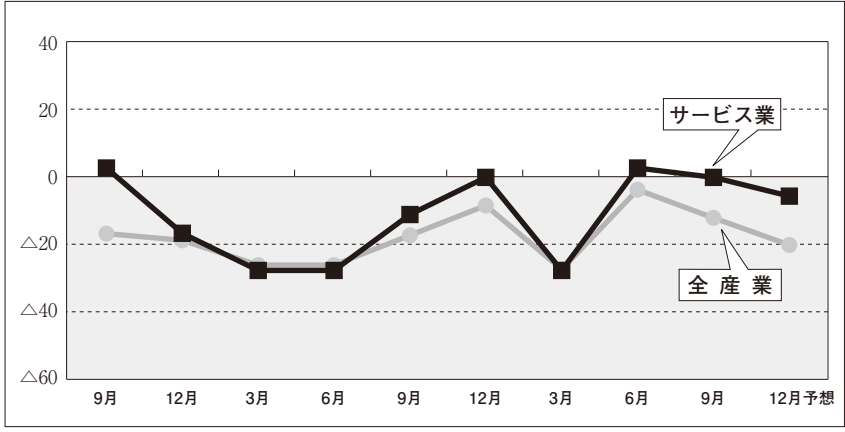
	上昇	横ばい	下降	DI値
今期	65.8	32.9	1.4	64.4
次期予測	61.1	37.5	1.4	59.7

※DI値を除く各項目の数値は各回答の構成値です。

サービス業 (対象36先)

業況判断

	良い	横ばい	悪い	DI値
今期	11.1	77.8	11.1	0.0
次期予測	8.3	77.8	13.9	△5.6



在庫状況

	過剰	適正	不足	DI値
今期	2.8	94.4	2.8	0.0
次期予測	5.6	94.4	0.0	5.6

販売価格

	上昇	横ばい	下降	DI値
今期	13.9	86.1	0.0	13.9
次期予測	16.7	80.6	2.8	13.9

仕入価格

	上昇	横ばい	下降	DI値
今期	41.7	58.3	0.0	41.7
次期予測	41.7	58.3	0.0	41.7

※DI値を除く各項目の数値は各回答の構成値です。

経営上の問題点

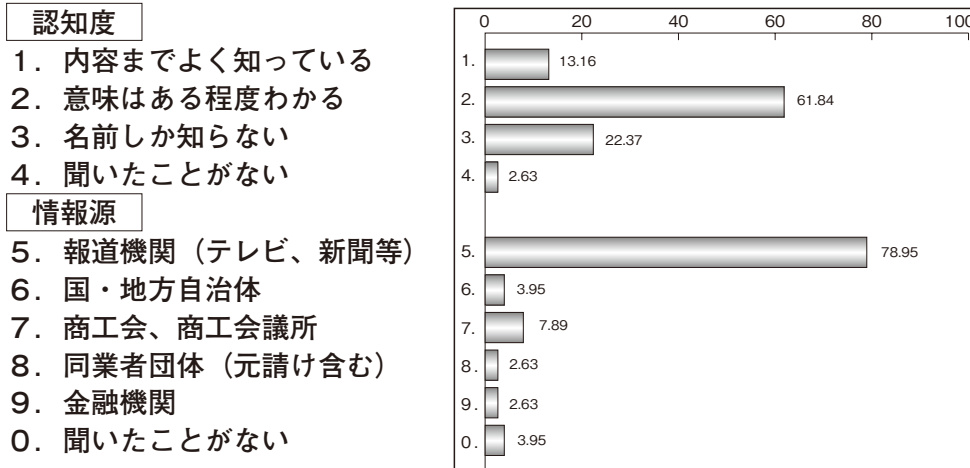
2022年9月期調査回答	(回答割合)	前回 (2022年6月)	前々回 (2022年3月)
1位 仕入商品又は原材料の値上り	(56.5%)	1位 (53.9%)	2位 (43.5%)
2位 売上又は受注の停滞・減少	(37.7%)	2位 (41.9%)	1位 (46.1%)
3位 従業員の確保難 (人手不足)	(36.1%)	3位 (34.0%)	3位 (31.4%)

※複数回答による回答割合上位3項目

前回と変わらず「仕入商品又は原材料の値上り」が1位、「売上又は受注の停滞・減少」が2位、「従業員の確保難 (人手不足)」が3位となりました。

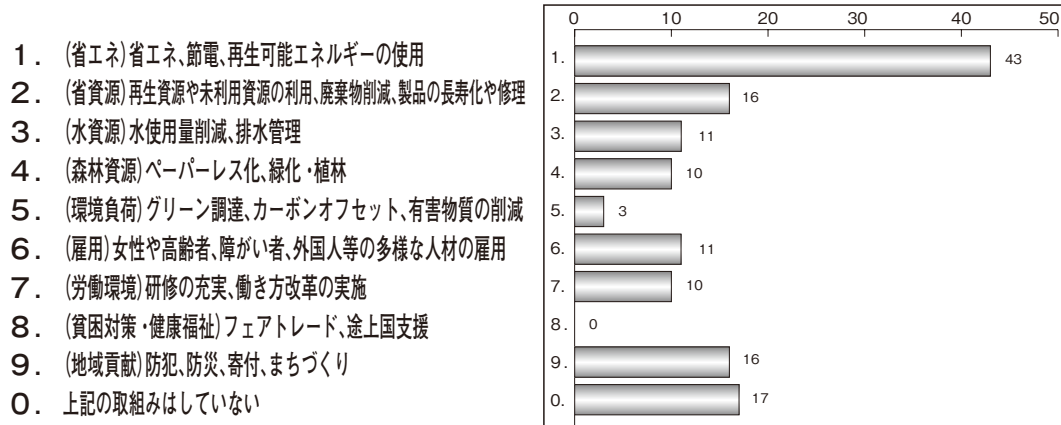
本特別調査は、信金中央金庫の地域・中小企業研究所が四半期毎に実施している定例調査の特別調査項目について、当庫取引先企業76社に同一内容のアンケート調査を実施したものです。(2022年9月調査)

問1. 貴社では、SDGsについてどのような認知度にありますか。下記の1～4の中から1つ選んでお答えください。また、SDGsについて、どういった機関から情報を得ていますか。下記の5～0の中から1つ選んでお答えください。



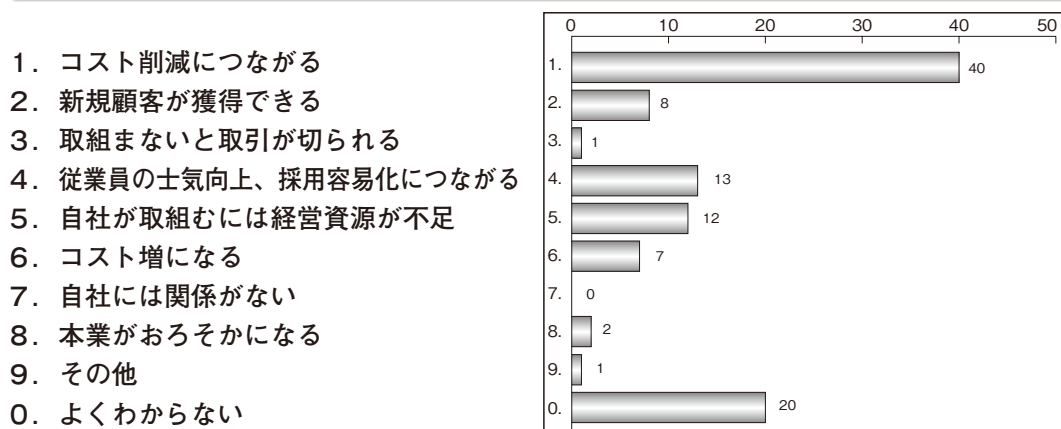
認知度については、「意味はある程度わかる」の回答が約6割と最も多く、「内容までよく知っている」と回答した企業と合わせると、全体の7割超となっております。また、情報源は「報道機関」と回答した企業が約8割となっております。

問2. 下記の1～9の取組みは、いずれもSDGsの理念と一致しています。貴社では、これらの取組みを行っていますか。もっとも取組んでいるものを最大3つまで選んでお答えください。取組んでいない方は0とお答えください。



「省エネ」と回答した企業が最も多くなっております。また、「取組みはしていない」と回答した企業は76社中17社にとどまり、何らかの取組みを行っている企業が多い結果となっております。

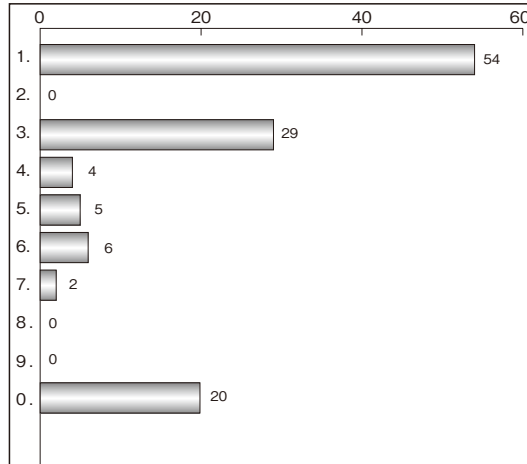
問3. 貴社では、企業がSDGsに取組むことについてどのような印象を持っていますか。1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。



「コスト削減につながる」の回答が最も多くなっております。一方で、「よくわからない」の回答も一定数見られます。

問4. SDGsの取組みの一つとして、カーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量の削減ならびに吸収作用の保全及び強化）に関する取組みがありますが、貴社で取組まれている施策は何ですか。1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。

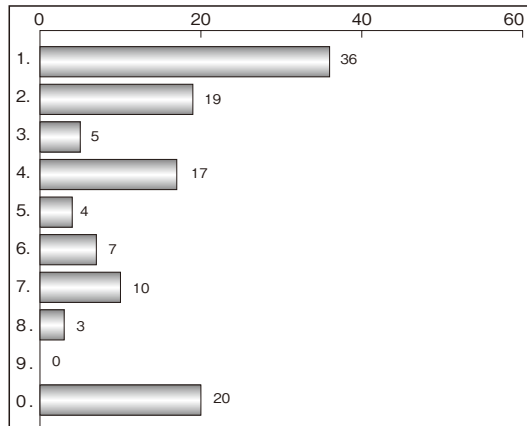
1. こまめな電源オフなど電気使用量の削減
2. カーボンニュートラルにつながる商品の開発
3. ごみの削減やリサイクルの推進
4. 電気自動車等、ガソリン車以外の導入
5. 太陽光発電等、再生可能エネルギーの導入
6. 環境負荷の少ない原材料等の利用
7. 温室効果ガスに関する行動目標の設定
8. 脱炭素に関する研究や勉強会の実施
9. その他
0. 取組んでいない



「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」の回答が最も多く、次に「ごみの削減やリサイクルの推進」の回答が多い結果となっております。

問5. SDGsについて、外部機関（公的、民間問わず。）からどのようなサポートを期待しますか。1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。

1. 経営者向け研修
2. 従業員向け研修
3. 自社取組みの認知度向上
4. 省エネ対応
5. 各種認証制度取得
6. 働き方改革などの人事制度改定
7. 多様な人材の雇用
8. 資金調達
9. その他
0. 利用したい支援はない



サポートを期待する企業の回答は、「経営者向け研修」が最も多く、「従業員向け研修」、「省エネ対応」が続きます。



網走信金の

のうだいレポート

【北海道で学ぶ農大生の挑戦】地域資源を存分に活用したリップクリームを届けたい！

東京農業大学食香粧化学科では、3年生の有志で学生コスメプロジェクトを運営しています。この度、シリーズ第3弾となる“mawリップクリーム”を製作します（mawとは、アイヌ語でハマナスの意味）。北海道の生物資源であるエミューオイル・ハマナス・ハッカを使用し、硬さ・滑らかさ・付け心地の良さを追求、香料は口に付けたときほんのりと香ることを意識して試作しました。このプロジェクトは2022年2月から始動し、約8か月の間、企画・商品の試作・デザイン制作・広報戦略などを行ってまいりました。

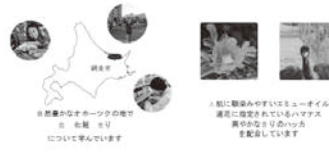
リップクリームを商品化するにあたり、クラウドファンディングサイトのCAMPFIREで資金（目標金額130万円）を募っています。昨年も、ハンドクリーム作成にあたり、目標金額100万円のところ169万円のご支援をいただきました。この場で感謝を申し上げるとともに、今後とも皆様の温かいご支援をよろしく願います。



クラウドファンディングで販売

期間 9/14～10/20

網走の農大生が製作 北海道の素材を使用



【お問い合わせ先】

事務局：地域課題戦略推進協議会

「未来を考える戦略センター」

北海道網走市八坂196

東京農業大学生産学部2号館2F

TEL:0152-48-3882

FAX:0152-48-2940

E-mail: mirai-c2@nodai.ac.jp

地域課題戦略推進協議会構成団体

- ・東京農業大学
- ・網走市
- ・網走商工会議所
- ・オホーツク網走農業協同組合
- ・網走漁業協同組合
- ・西網走漁業協同組合
- ・一般社団法人網走観光協会
- ・網走信用金庫

あはしりんきん 掲示板～地域情報とお知らせコーナー～



観光情報：観光施策に期待

9月26日の観光庁の発表では、北海道が取り扱う旅行キャンペーン「どうみん割」を10月10日まで延長し、全国の都道府県からの旅行を補助対象とした観光需要喚起策「全国旅行支援」を10月11日から12月下旬まで実施するとしており、観光客数の増加が期待されます。

※本誌作成時点の情報

漁業情報：マス漁の動向について

マスについては、例年一年置きに豊漁と不漁を繰り返し、今年は豊漁年として漁獲量の増加が期待されてきました。しかし、豊漁の兆しが見られず、不漁年であった前年を下回る漁獲実績で推移しております。現在はサケの定置網漁が本格的に始まり、今後の動向が注目されております。

網走信金からのお知らせ

①懸賞付定期預金 「全国グルメ「縁」 partⅡ」 を販売しております!!

抽選で合計 1,200 本が当たる！
全国の特産品をご用意しております！

※2023年3月31日までのお取扱期間となりますが、募集金額に達した時点でお取扱いを終了させていただきます。



②「住宅ローン」、「マイカーローン」を特別金利にてキャンペーンを実施しております。



※商品の詳しい内容につきましては営業店窓口・渉外担当者へお問い合わせください。

店舗のごあんない

本店	〒093-0014 網走市南4条西1丁目8番地	☎(0152)43-3111
市役所出張所	〒093-0006 網走市南6条東4丁目 網走市役所内	☎(0152)44-6260
駅前支店	〒093-0046 網走市新町1丁目7番地10	☎(0152)44-5265
斜里支店	〒099-4112 斜里郡斜里町港町2番地48	☎(0152)23-3111
美幌支店 (稲美支店)	〒092-0050 網走郡美幌町字大通北3丁目12番地の1	☎(0152)73-2161
常呂支店	〒093-0210 北見市常呂町字常呂325番地16	☎(0152)54-2304
小清水支店	〒099-3642 斜里郡小清水町南町2丁目1番10号	☎(0152)62-2221
清里支店	〒099-4406 斜里郡清里町水元町16番地2	☎(0152)25-2311
女満別支店	〒099-2323 網走郡大空町女満別西3条4丁目2番6号	☎(0152)74-2171
東藻琴支店	〒099-3293 網走郡大空町東藻琴360番地の1大空町東藻琴総合支所内	☎(0152)66-2311
北見支店	〒090-0044 北見市北4条西4丁目14番地	☎(0157)23-7366
津別支店	〒092-0231 網走郡津別町字大通39番地1	☎(0152)76-2101
釧路支店	〒085-0032 釧路市新栄町3番13号	☎(0154)24-0165
北進支店	〒090-0052 北見市北進町4丁目3番48号	☎(0157)22-3111
釧路北支店	〒085-0057 釧路市愛国西1丁目24番17号	☎(0154)38-3111
駒場支店	〒093-0035 網走市駒場南4丁目4番3号	☎(0152)45-3111
帯広支店	〒080-0015 帯広市西5条南14丁目4番地1	☎(0155)21-3111
潮見支店	〒093-0042 網走市潮見6丁目105番15	☎(0152)43-4800
音更支店	〒080-0301 河東郡音更町木野大通西10丁目1番地7	☎(0155)30-2100

※稲美支店は2021年11月1日より、美幌支店内に移転しております。

サテライト店舗のご案内

2022年4月4日より、駅前支店と潮見支店は預金・保険募集等に特化した「サテライト店舗」として営業しております。融資業務（新たな融資のお申込みに関する各種相談）につきましては、それぞれの母店にてお取り扱いさせていただきます。ご理解と変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

サテライト店	母店
駅前支店	本店
潮見支店	駒場支店
東藻琴支店	女満別支店



<ホームページ> <http://www.abashin.co.jp>



この印刷物は再生紙を使用しています。